

(f)コンパイルリストの入手方法

(1) コンパイルリストの種類

コンパイラが出力するリストの種類を次に示します。

(a) 情報リスト

プログラム情報やエラーの総数等のコンパイル時の情報を要約して出力したものです。

(b) 原始プログラムリスト

コンパイル時に入力した原始プログラムのリストです。相互参照情報やコンパイル時にエラーが検出されたときのエラーメッセージなども出力されます。

(c) エラーリスト

コンパイルエラーのエラーレベルやエラーメッセージを出力したものです。

(2) リストの出力方法

(a) コンパイラオプションの指定

コンパイルリストを出力するためのオプションを次に示します。これらのコンパイラオプションを指定しない場合、コンパイルリストは出力されません。

-SrcList, NoCopy

COPY文で複写した登録集原文の内容を原始プログラムリスト中に展開しません。

-SrcList, CopySup

SUPPRESS指定のあるCOPY文で複写した登録集原文の内容は原始プログラムリスト中に展開しません。SUPPRESS指定のないCOPY文の場合はすべて展開します。

-SrcList, CopyAll

COPY文で複写した登録集原文の内容をすべて原始プログラムリスト中に展開します。

-SrcList, OutputAll

COPY文の指定や条件翻訳、LISTING翻訳指令にかかわらず、強制的にすべてのソース原文をコンパイルリスト中に展開します。SUPPRESS指定のあるCOPY文も展開します。

-SrcList, XXXXX, NoFalsePath

条件翻訳結果の無効行はコンパイルリストに出力されません。
XXXXXには、CopyAll, CopySup, NoCopyのどれかを指定します。

NoCopy, CopySup, CopyAll, およびOutputAllサブオプションは同時には指定できません。同時に指定した場合、最後に指定したオプションが有効になります。

NoFalsePathサブオプションは、その他のオプション(OutputAll以外)と同時に指定する必要があります。

全ての情報を表示したいときは、OutputAllオプションだけを指定します。

(b) コンパイルリストの出力先

情報リストと原始プログラムリストは、コンパイルリストファイル(.lst)に出力されます。また、エラーリストは標準エラー出力(stderr)、すなわちCOBOL2002開発マネージャのメッセージウィンドウに表示されます。)

コンパイルリストの出力手順および出力例は、次ページ以降で説明します。

下記プログラムは「reidai1」プログラムのデータ定義部の「DATA0」と「YYMMDD」を登録集原文として別ファイルに登録したものです。DATA0.cblとYYMMDD.cblは、ソースファイルと同じフォルダに作成します。このプログラムをコンパイラオプション「-SrcList, NoCopy」を指定してコンパイルしてみます。

```

000500*
000600 DATA    DIVISION.
000700 WORKING-STORAGE SECTION.
000800 COPY DATA0.
000900 COPY YYMMDD SUPPRESS.
001000*
  
```

レディ 行: 1 カラム: 8 挿入

```

000100 01 DATA0.
000200 02 DATA1 PIC X(10) VALUE ALL '*'.
000300 02 DATA2 PIC X(20) VALUE SPACE.
000400 02 DATA3 PIC X(10) VALUE ALL '*'.
  
```

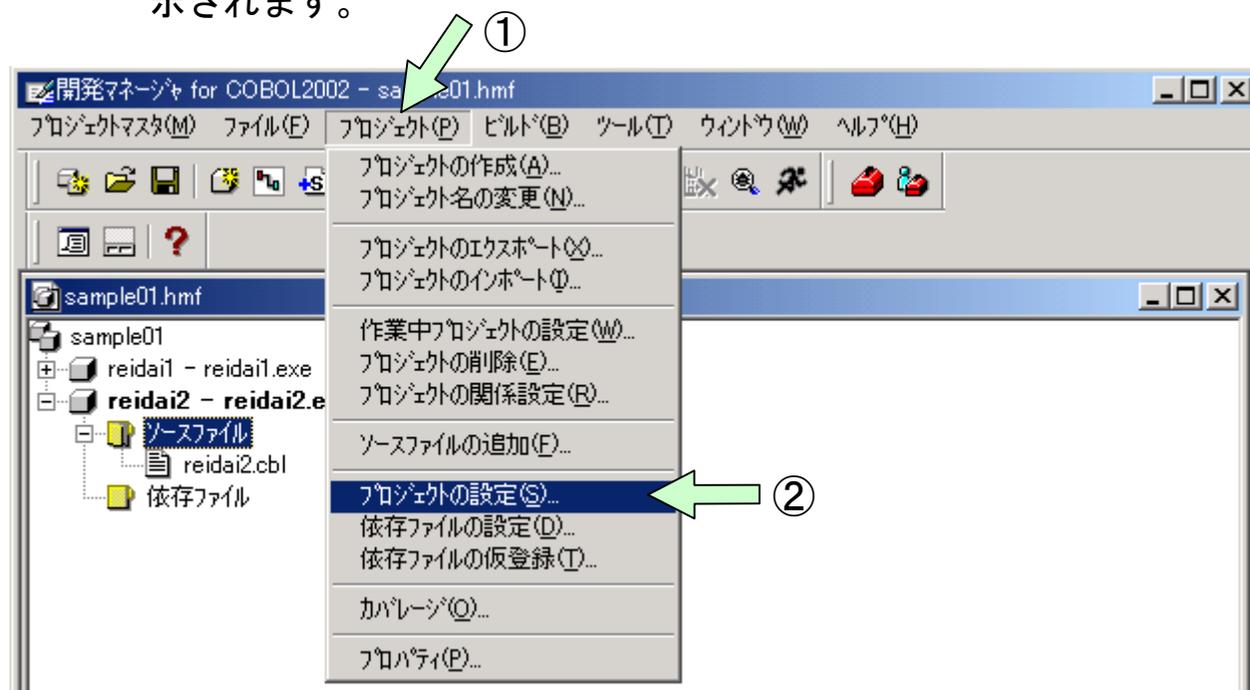
レディ 行: カラム:

```

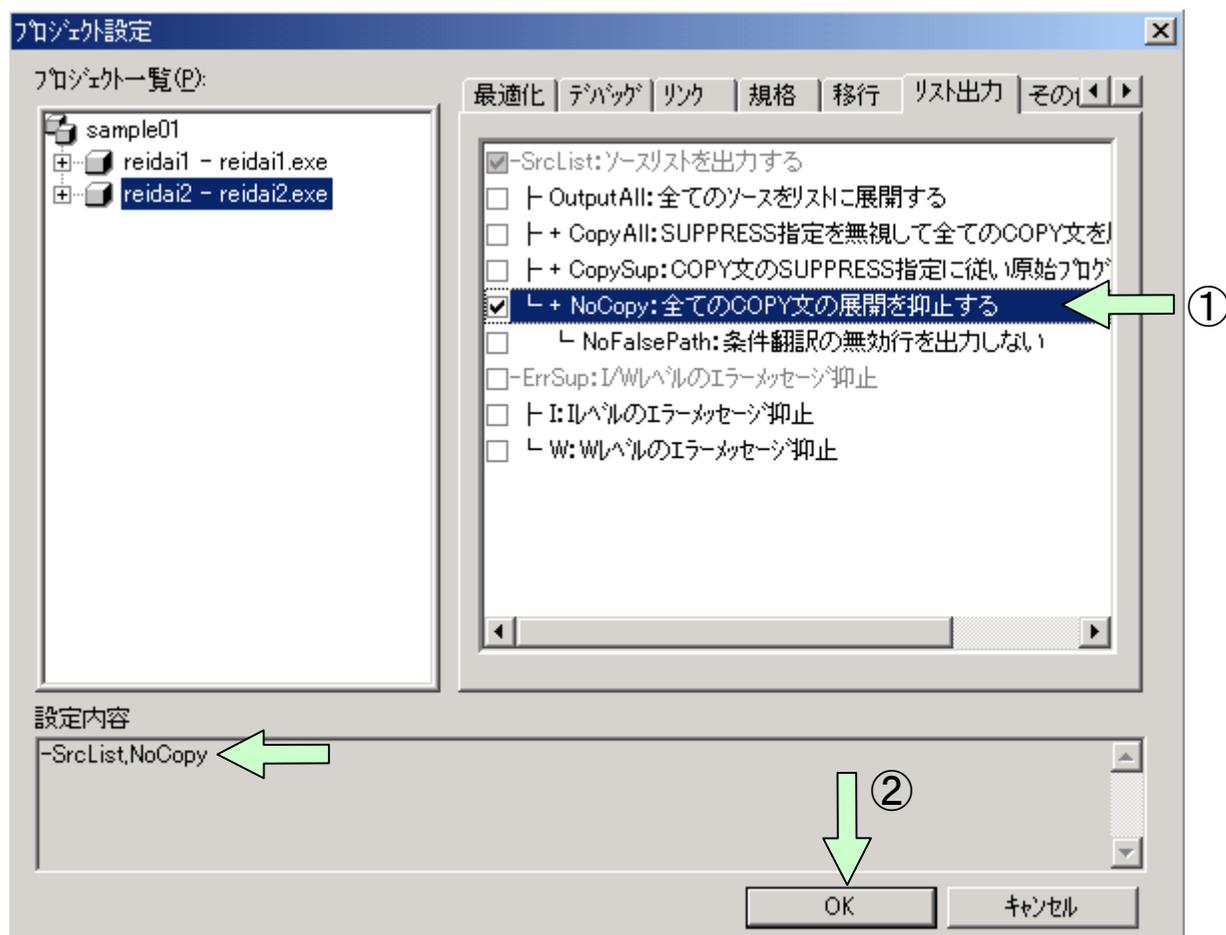
000100 01 YYMMDD.
000200 02 年 PIC 9(2).
000300 02 月 PIC 9(2).
000400 02 日 PIC 9(2).
  
```

レディ 行: 1 カラム: 8 挿入

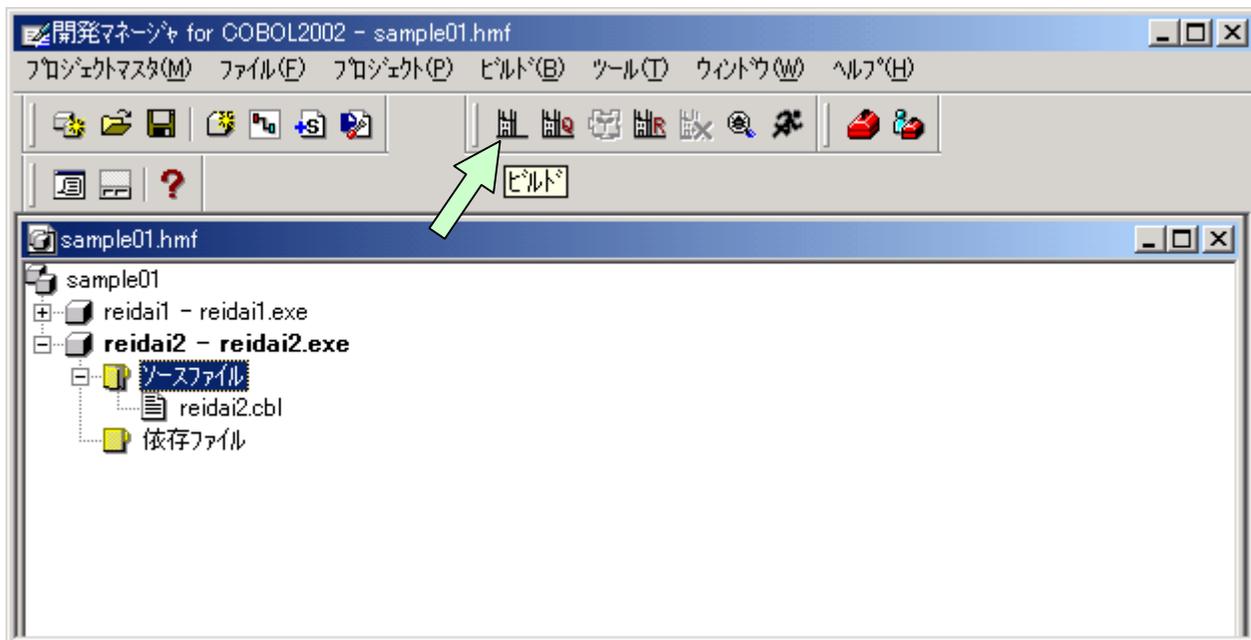
[手順 1] COBOL2002開発マネージャのメニューバーの「プロジェクト(P)」、「プロジェクトの設定(S)」の順にクリックします。すると「プロジェクト設定」画面が表示されます。



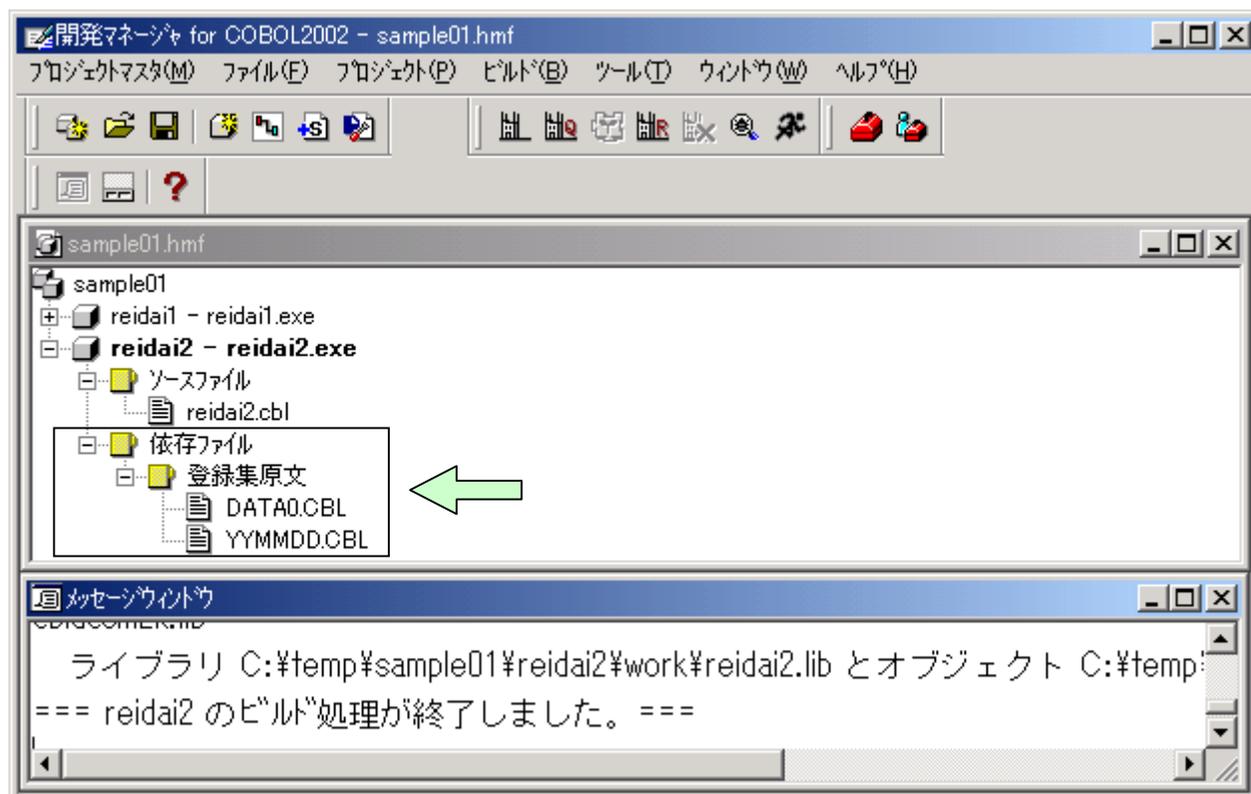
[手順 2] 「プロジェクト設定」画面の「リスト出力」タブの中から「-SrcList, NoCopy」オプションをクリックし、「OK」ボタンをクリックします（□内にレ印が付き、「設定内容」の欄に表示されます）。



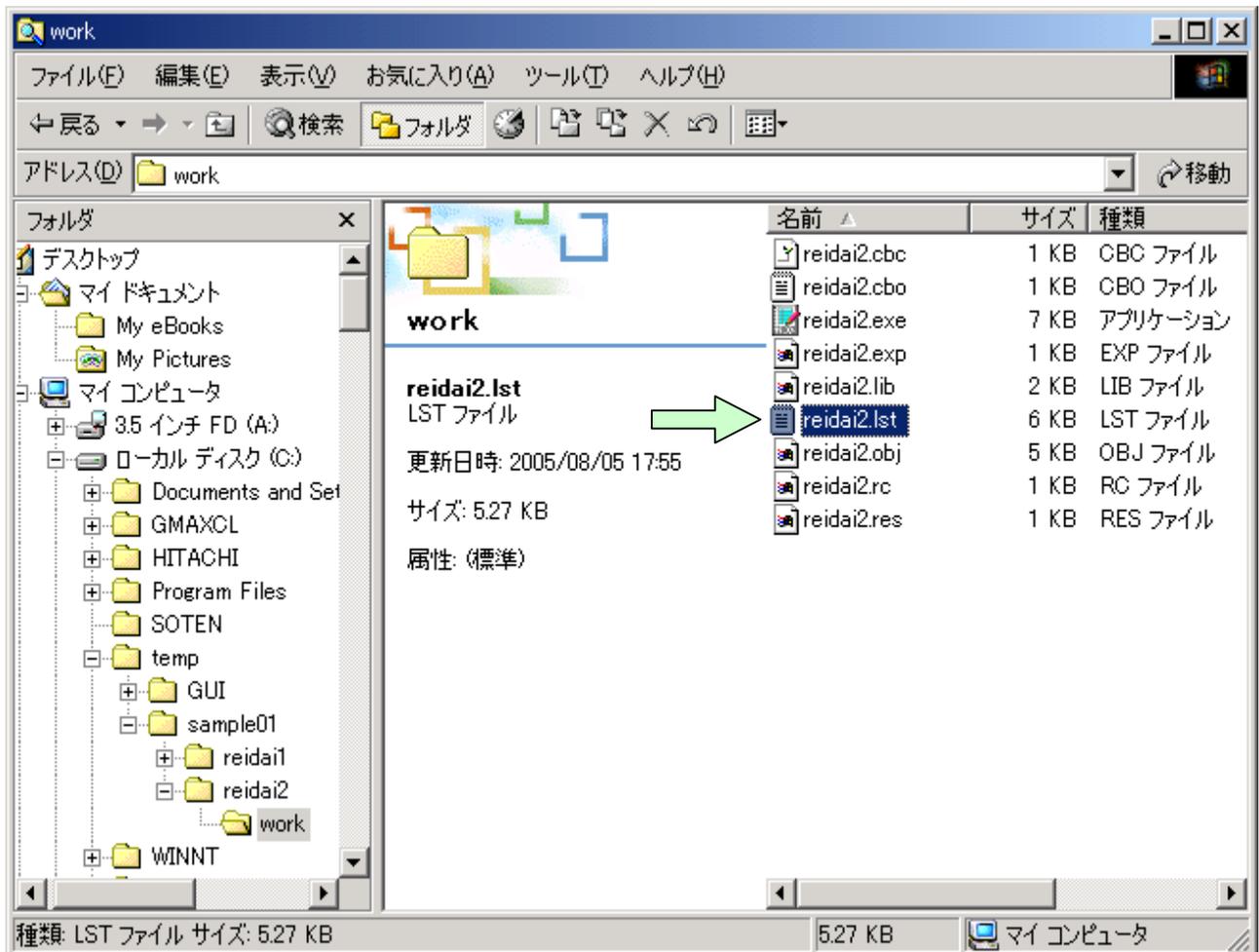
[手順3] 開発マネージャの画面に戻ったら、「ビルド」を行います。



[手順4] ビルドが終了すると「依存ファイル」が表示されます。+ボタンを押して登録されている登録集原文を見てください。依存関係が自動的に確立されていることがわかります。また、workフォルダの下には、拡張子が.lstのファイルが生成されていますので開いて見てください。



- [手順5] エクスプローラによりworkフォルダの下に実行可能ファイル等と共にコンパイルリストファイル「reidai2.lst」が生成されます。コンパイルリストファイルは、COBOLエディタ、メモ帳等で開いて見ることができます。



コンパイルリストを以下に示します(メモ帳で開いています)。
「-SrcList, NoCopy」 オプションなので、COPY文の内容は展開されません。

```

*****
* コード          意味
*   * : 更新
*   # : INITIALIZE又はCORRESPONDINGで更新される下位項目
*   A : ALTERで参照
*   D : データ部又は環境部で参照
*   E : PERFORMの出口
*   G : GO TOで参照
*   P : PERFORMで参照
*   Q : IF/EVALUATE/PERFORM...UNTIL/SEARCH...WHEN/探索条件で参照
*   S : 添字で参照
* なし : その他
*****

A 000100 IDENTIFICATION DIVISION.
000200 PROGRAM-ID.    reidai2.
000300*
000400 ENVIRONMENT  DIVISION.
000500*
000600 DATA        DIVISION.
000700 WORKING-STORAGE SECTION.
000800 COPY DATA.
000900 COPY YYMMDD SUPPRESS.
001000*
001100 PROCEDURE  DIVISION.
001200*
001300 Mein-Sec SECTION.
001400     PERFORM  初期処理.
001500     PERFORM  比較処理.
001600     PERFORM  出力処理.
001700     STOP   RUN.

```

「-SrcList, CopySup」オプションを指定してコンパイルすると、コンパイルリストは次のようになります。

```

A 000100 IDENTIFICATION DIVISION.
000200 PROGRAM-ID.    reidai2.
000300*
000400 ENVIRONMENT DIVISION.
000500*
000600 DATA    DIVISION.
000700 WORKING-STORAGE SECTION.
000800 COPY DATA0.
801  C1 000100 01 DATA0.
802  C1 000200 02 DATA1 PIC X(10) VALUE ALL '*'.
803  C1 000300 02 DATA2 PIC X(20) VALUE SPACE.
804  C1 000400 02 DATA3 PIC X(10) VALUE ALL '*'.
000900 COPY YYMMDD SUPPRESS.
001000*
001100 PROCEDURE DIVISION.
001200*
001300 Mein-Sec SECTION.
001400     PERFORM 初期処理.
001500     PERFORM 比較処理.
001600     PERFORM 出力処理.
001700     STOP  RUN.
001800*
001900 初期処理 SECTION.
002000     ACCEPT YYMMDD FROM DATE.
002100*
002200 比較処理 SECTION.
002300     IF 月 = 9
002400     THEN
1 002500         MOVE 'September!!' TO DATA2
002600     ELSE

```

「-SrcList, CopyAll」オプションを指定してコンパイルすると、コンパイルリストは次のようになります。

```

A 000100 IDENTIFICATION DIVISION.
000200 PROGRAM-ID.    reidai2.
000300*
000400 ENVIRONMENT DIVISION.
000500*
000600 DATA    DIVISION.
000700 WORKING-STORAGE SECTION.
000800 COPY DATA0.
801  C1  000100 01 DATA0.
802  C1  000200 02 DATA1 PIC X(10) VALUE ALL '*'.
803  C1  000300 02 DATA2 PIC X(20) VALUE SPACE.
804  C1  000400 02 DATA3 PIC X(10) VALUE ALL '*'.
000900 COPY YYMMDD SUPPRESS.
901  C1  000100 01 YYMMDD.
902  C1  000200 02 年 PIC 9(2).
903  C1  000300 02 月 PIC 9(2).
904  C1  000400 02 日 PIC 9(2).
001000*
001100 PROCEDURE DIVISION.
001200*
001300 Mein-Sec SECTION.
001400     PERFORM 初期処理.
001500     PERFORM 比較処理.
001600     PERFORM 出力処理.
001700     STOP  RUN.
001800*
001900 初期処理 SECTION.
002000     ACCEPT YYMMDD FROM DATE.
002100*
002200 比較処理 SECTION.

```

SUPPRESS指定に関係なく、全てのCOPY文が展開されます。